

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【茨城県】

学校名【石岡市立南小学校】

1 実践テーマ	I ・ III ・ V
2 実施対象者 (学 年 ・ 人 数)	第6学年 71名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 (オリンピック講演会・車椅子バスケットボール体験会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	○オリンピックとの交流により、目標をもって努力することの大切さについて理解を深め、夢や目標をもって生きていこうとする意欲と態度を養う。 ○車いすバスケットボールの体験を通して、共生社会への意識を高め、パラリンピックへの興味・関心の向上を図る。
5 取組内容	(1) 国際パラリンピック委員会公認教材「オリンピック価値教育の基礎」「I'm POSSIBLE」を活用しての事前学習 ① オリンピック・シンボルについて ② 「パラリンピックってなんだろう」 ③ 「パラリンピックスポーツについて学ぼう！」 ④ 「パラリンピアン香西選手ってどんな人だろう？」 (2) オリンピアンによる講演会・体験会 ① 実施日 令和2年11月18日(水) 9:30～11:30 ② 講 師 ロンドンオリンピック 男子柔道60kg 級 銀メダリスト 平岡拓晃氏 ③ 内 容 講演「失敗＝ダメじゃない」 柔道の実技披露、代表児童の柔道体験

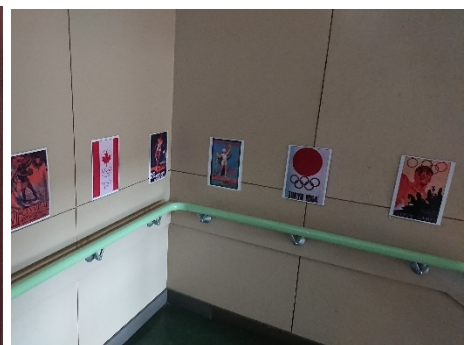


(3) 車椅子バスケットボール体験会

- ① 実施日 令和2年12月3日(木) 9:30~11:30
- ② 講師 シットイングスポーツ協会より4名
- ③ 内容 パラスポーツについて
車椅子の乗り方・降り方
車椅子バスケットボール体験



(4) オリンピック・パラリンピックコーナーの設置



6 主な成果

- オリンピック・パラリンピックについての興味・関心が高まった。
- 講演会では、平岡選手が体験談を入れながら、目標をもつことの大切さについて講話をしてくださった。「夢や目標をもつこと」「努力すること」「周りに感謝の気持ちを忘れないこと」の大切さを実感し、今後に生かそうとする考えをもつことができた。
- 車いすバスケット体験会では、道具やルール of 工夫について学び、実体験を通して、みんなで一緒にスポーツを楽しめることを感じる事ができた。

	<児童の感想より> ○障害がある人には、用具を工夫したり、サポートする人に支えられたりして、スポーツを楽しむことができているんだなと思いました。 ○僕は今まで失敗は恥ずかしいことだと思っていましたが、平岡先生から「失敗＝ダメじゃない。本当の失敗が失敗と向き合わないこと」と教えてもらいました。これからは失敗してもその失敗に向き合い、次はどうすればよいか考えて、繰り返さないようにしていきたいと思いました。 ○今回の講演会で勉強になったことは、「本当に必要なものは実力ではなく勇氣。チャレンジすることに価値がある。」ということです。いま、バドミントンを習っていますが、どこか弱気な自分がある気がします。これからもっと勇氣を出してチャレンジしていきたいです。 ○義足の方も一緒に車いすバスケットを楽しんでいる姿を見て、ルールや道具を工夫すれば「みんな同じなんだな。」と実感しました。今回の経験を通して、どんな人にも分け隔てなく接しようと決心しました。 ○たとえば足が不自由だったとしても、みんなでスポーツを楽しめるということがわかりました。これから、パラスポーツを体験する時も、見る時も楽しみたいです。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	○国際パラリンピック委員会公認教材を活用することで、ワークシートや資料映像を見せながら、オリンピックやパラリンピックへの興味・関心を高めることができた。 ○講師との連絡・調整を綿密に行った。また、自校以外での開催もあったため、事前に体育館へ行って打ち合わせをしてから実施した。 ○シッティングスポーツ協会の協力により、多くの車椅子を貸して頂くことができた。全員が十分に体験する時間を確保することができた。 ○学校環境にオリンピック・パラリンピックに関する資料を掲示した。また東京オリンピックのピクトグラムを描いて体育館に掲示したことで、他学年にも興味・関心が高まる環境作りを行った。
8 主な課題等	○講師依頼をするのが困難であった。 ○推進校指定を受けてから、年間計画に組み込んでいくのが大変だった。 ○他のパラリンピック種目も体験してみたいが、道具を借りる手段、また財源の確保が難しい。 ○活動が単発なもので終わらないように継続することに課題がある。
9 来年度以降の実施予定	○オリンピック・パラリンピックコーナーを随時更新し、児童の興味・関心が継続するようにしていく。